THE WOMAN'S WEEKLY

第四巻第二十三號

大正七年六月七日發行　(毎週發行金曜日)　大正四年十一月四日第三種郵便物認可

婦人週報

目次

□光りの恩惠……小橋三四子
□自己凝視……茅野蕭々
□「窓の光」……晃南
□讀者から……
□貧が生んだ轉氣療法……記者
□私の讀書「水田光子女史」……記者
□皿洗ひしながら八年の苦學……佳子
□人相改造術……澤田斬雲
□再び兒童の惡戲に就て
—(田中芳子様に)—……佐久千代子
□鮫肌の事……松下克治
□果物料理と白味噌の作り方……藤本民子
□オハナシ「雷様のお宿」……総子
□小說「愛」……木内錠子
□時事……編輯室より

定價一部五錢　郵稅五厘

婦人週報社

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

□三越の六月□□

■歐州大家繪畫展覽會（一日より十日まで）

■土陽美術展覽會（一日より五日まで）

■格安反物賣出し（十二日より）

■第三回夏衣裳陳列會（十二日より）

東京

三越呉服店

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

光りの恩惠

□鬱陶しいけふ此の頃

鬱陶しい梅雨の頃となつて、私共は滅多に輝やかしい太陽の光りを見ることが出來ません。それでも晝は何事をするにも不自由のない明るさであり、なほ折々は濃やかな緑の木の間から、やがて來る眞夏の日光を思はせるやうな美しい光線の射す事もあれば、靜かに暮るゝ夜の雲の絶え間から、あへかな星の瞬きの洩るゝこともあります。光りに馴れて居る人々もそのたまく\の太陽と星には、幾分の有難さを覺ゆるでありませう。

□盲女の小著

この頃信州諏訪に居る盲婦人丸茂きよの女史の小著「彼方の星」を手にしました。肉眼の盲ひた女史が、一と度靈眼開けて永遠の光りに遇ふや、その溢るゝ歡喜を抑えつゝ、わが恩寵を多くの人々に傳へて、共にその境に至らんことを希つて書かれたものであります。女史は卷頭に

めぐみの光りは　我行き悩む
暗路を照らせり　神は愛なり

の讃美歌を掲げ、自分を救ひに導いたものは、實にこの讃美歌であつたと記してあります。更らに卷末は彼女の祈禱を以て閉おて居ります。

「光りの源なる父なる神よ、爾は眩き太陽の光り、冴へ渡る月の光り、美はしき星の光を常に我等のために、贈りたまふを感謝します。願はくは父よ、草深き、賤が伏屋をも、物凄き牢獄をも、常に爾の御光りをもて、かこみ給へ。父よ、涙にうるほふ眼を拭ひ、迷にかすめるまなこを開き、罪に眠れる眼を醒し、爾の御光を仰がしめ給へ。父よ爾の光は常に我が行手の星と輝き、我が足の灯となり、常に我れを正しく歩ましめて、なつかしきエデンの園に導き給へ。石の枕草の褥の旅寢にも、常に爾の御光もて守り、やがて輝く御園に憩はしめ給へ。彼方の星てそなつかしきエデンの園に輝くなれ。父よ、何時迄もいかなる時にも、彼方の星を見失ふ事なき様、我眼をして絶えず彼上の星を仰がしめ給へ。アーメン」

と。いかに彼女が光りに憧憬しつゝあるかを見れば、涙ぐましくさへ覺えます。暗きに住む者には、光り卽ち神の愛であります。私共は日々贅澤にその光明の中に生活することを許されて居る者であります。しかもこの光明の一日が何の爲めに存在し、何の爲めに使はれなければならぬかに就て、考ふる事は、甚だ稀れであります。

□光りの意義

夙夜に勤むる世の人々は、そも何を眼ざして働らいて居るのでせうか。わが名譽か位か、子孫の爲めの美田か、それはまだしも、只本能によつて生れ、育ち、本能によつて子孫を遺し、これを養つて、一生を終る人々も尠くはありませぬ。巨萬の富を畜へ、高貴な位に昇つても、必しも其の生活が意義が多いとは云へませぬ。南阿の婦人問題研究者として知られて居るオリーヴ、シュライナー女史が「貴婦人は社會を毒する黴菌のやうなものだ」と痛罵して居りますが、生活の安易と共に、その内容は隨落する場合が多いのであ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ります。本能的に生活して居る者がその生存の意義がない事は申す迄もありませぬ。而して人の選ぶべきは、この光りの中に意義ある生存を遂げねばならぬことで、もし其の目的が、富や位や名譽や外形のものに止まるならば、潔く一轉して先づ其の內容を富ます事に心を注がなければなりませぬ。

□最も價値ある事を撰べ

人は朝の日を戴くと共に、この光りの中に於て、最も價値ある仕事を撰むことを務めたいものであります。愚かなる私共は眞に「爲すべき事を爲さず、爲すべからざる事を爲」して日を送りつゝあります。もし事業を營む人ならば其の事業の繁榮よりも先づ事業を通してわが心身を高きに導き、社會、國家、人類の向上を圖ることを希はねばなりませぬ。學問をし、研究を積くる者ならば、これを以て身を立て、名を擧げんとするよりも、眞理その者の價値を愛し、延いて世の人の福祉を增さん事を心掛けなければなりませぬ。またたとへ下婢下男の職を執る者であつても、その心掛け一つによつては、高尙な生活を續ける事が出來ませう。ブラザ！ローレンスが生涯を庖廚の內に送つたにも拘らず、神と偕なる其の生活は遂に聖者の域に達するを得させました。そして多くの君主、權威者は滅びてもブラザー・ローレンスの生命は、今に人々の中に生きて働らいて居ります。職業の高下は、其の魂の訓練に、決して拘束を與へるものではありませぬ。而して定まつて居るかのやうな運命は、人の選ぶが儘に如何樣ともなる自由の有難さが存して居ります。

□公明正大な生活

第二に私共は光りの中に、充分に浸つて生活したいものであります。罪惡は暗きに於て行はるゝと共に、罪惡を犯す人は、光りを避けて、愈よ暗きに陷つて行くのであります。先づわが部屋に、わが身體に、充分に太陽の光りを受け容れよ、其處には黴菌は死し、健康が生れて參りませう。更らに見えざるわが心の中を、日の光りの前に展開して、病ましい何物もない迄に公明正大でありたいものであります。

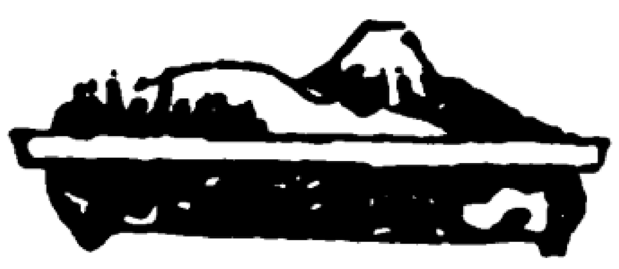
□光蔭を惜しみつゝ

次に光の惠みを思ふものは、これを惜しみつゝ使ひたいものであります。盲人にいつか一瞬の光明を與へらるゝとの約束があれば、其瞬時に、世界の萬物を眼に容れやうと願ふでありませう。光りに住む人は、朝の事は夕べに延ばし、見得る物をも怠りによつて見ずに過す場合が多々あります。かうして一日の夕べに悔い、一生の終りに悔いつゝ、日暮れて道遠き嘆を洩らすのであります。報德主義を稱へた二宮尊德翁は、人間が日と共に働けば、決して貧乏する事はないと說いて居られますが凡ての經濟の根源は、光蔭の經濟に外ならぬのであります。

＊　＊　＊　＊

丸茂りきの女史のやうに、肉眼は盲いても、靈眼の開いた者は、光りに住つて、なほ靈の眼を閉ぢて居る者なり、幾倍の幸福であるかも知れませぬ。しかも心身の眼を完全に見開き得る特權ある私共は、一層の恩惠を感謝して、より多く光りの意義を發揮しなければなりませぬ。

（三四子）



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

自己凝視（上）

茅野蕭々

回此間私は街を歩いてゐて、一人の佝僂の子供が危く自轉車に曳き倒されやうとする刹那、路傍の人に救けられたのを、目擊した。丁度私は、這ふやうにして歩いて行く其の不幸な子供を、痛ましい心持で眺めてゐた瞬間であつたから、突然横町から疾風のやうに飛出して來た自轉車を見た時には、思はずあつと叫ばずにはゐられなかつた。若し勇敢なあの救助者が身を躍らせて、自轉車と佝僂の子との間に飛込まなかつたら、あの憐れな子供は乾度大怪我をするか、又は死んで了つたに違ひない。自轉車は乘つて居た小僧と一所に轉覆した。救助者の著物は裂けた。脚に少し傷も受けたらしかつた。併し要するに大したことは無くて、佝僂の子は救はれたのであつた。

回私は街を歩き乍ら考へた。若しあの瞬間、あの人が飛出さなかつたら、或は自分が飛出したかも知れない。そしてあの人のやうに逞ましい體軀と敏捷な動作とを持つて居ない自分は、あの人より遙かに大きな負傷をしたに相違ない。―實際その人が佝僂の子供を引抱へて突嗟に身をかはした動作は、自分などの到底企て及ばない敏捷さであつた。― そして若しあれが自働車でゞもあつたら……　私は慄然として驚いた。

さうだ、あれが自働車であつてもあの人は敢然としてあの子供を救はうとしたに相違ない。實際それが自轉車であるか、電車であるか、將たまた自働車であるか、その爲めに自分の身が危くなるか何うかといふやうな事を考へ量る餘裕を許さない程突發的な事件であつたのだ。よしまた身の危急を直覺したにしても、あの刹那彼の人は飛出さずにはゐられなかつたらうと思はれる。それ程あの子供の生命が危ふく見えた。それ程あの救助は自然なもの、押へ難いものに見えた。

回私は尚ほ考へ續けた。他人の急を救はんが爲めに、自分の生命をも顧みなかつた勇敢な話は、時々耳にもし新聞等にも見る事柄であるが、我々は一體之れを何う考へるのが正當なのであらう。何う考へなくてはならないのであらう。斯うした緊張の極度に達した瞬間、人は盲目の感傷に捕はれて自己を滅ぼすの愚を演ずるのであらうか。或はまた平常超脱し難い自己の陋屋を、斯うした異常時に至つて始めて突破し、純粹の愛の形に於て彼我合一の妙諦に參することが出來るのであるか。抑々かうした愛の爲めに自己を滅ぼし自己を危ふくすることは、自己の爲め人類の爲めに正當なことであるか。更に進んで純粹な愛は必然の結果として自己の破滅を持來すものであるか。

回私はそんな問題を持つて京橋を渡り日本橋を渡つた。街樹の新綠は塵にまみれ乍らも、尚ほ新鮮な初夏の匂と氣息とを路ゆく人の肩にふりまいた。

罪のない動物を屠殺して其肉を食ふ人間も、一莖の花を無慘に踩躪るには忍びない。さうした心を一概に感傷的であるとして斥けて了ふのは、人生を餘り索漠たらしめはしないか。況して同胞人類の危難を見て袖手傍觀することの出來ないのは、我々の正しい美しい感情でなくて

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

はならない。併し自分の生命を危くし自己の生活を毀してまで他を救ふ、即ち生命を以て生命を償ふ場合、その二つの生命の價値を誰が定め得られやう。誰が救はれる生命と救ふ生命との輕重を定めることが出來やう。此處まで考へて見て私は眞黑い壁に突當つたやうな驚きと狼狽とを感ぜずには居られなかつた。事實は今私の眼前に起つたのだ。私自身が最う少しのところで自轉車と衝突するの危險を、知りつゝ冒さうとしてゐたのだ。而もそれは全く知らない、憐れな併し醜い子供の爲めなのだ。私は其時突如胸に充溢した其子供に對する愛と救護の念を、決して人生に於ける二次的のものとは感じない。併し彼の自轉車の爲めに路上に轉倒し其儘冷い墓地の人となつたかも知れない自分を考へると、流石に快い心持はしてゐられない。否、それ許りではない自分の輕率を呪咀したい心持にさへなる。私は考へ疲れた。

回數日を經てから私はまた同じ問題を考へ續けやうとして、自分が餘り極端な場合から出發してゐることに氣がついた。最つと普通の狀態に於て考へ直して見なくてはならない。其方が我々にとつて寧ろ切實なことではあるまいか。

一體「人を立てれば身が立たぬ」といふやうな場合は、日常生活に於ても幾度か我々が相遇してゐるところである。それを我々は大概不徹底な誤魔化しでもつて、一時を片づけて置く。よく考へて見れば先づ我々は此處から出發しなくてはならない。人を立てゝ己れを無みすることは譬へ自己の一小部分であらうとも、自己存在の意義を失ふことではないか。されば云つて偏へに自己に執著して他を壓倒することは、利己中心の非難を免れない。よし世間の非難は巧みに避け得るとしても、自己の心に安定を得られない。此の己れと人との撞著を緩和し、自他の谿谷に確かな橋を架するものは無いであらうか。

〔二〕私は其處に愛と理解といふものを考へて見た。愛こそは自己を取出して他に與へることである。他から奪はずして他を自己の中に吸入することである。其處に自他の限界は徹せられ、其處に無碍の天地が開けるに相違ない。そして其愛を援け促がすものは實に理解でなくてはならない。理解はたゞに愛の發生を促がす許りではなく、更にまた愛を淨め、愛を惑溺から救ふ力となるであらう。さうした經驗は我々の日常の事實として屢々親しく經驗したところであつて、我々の家族、社會、總ての懷かしいものに對する關係は斯うした愛と理解とで繋がれてゐるのでは無からうか。親子夫妻朋友等は此の愛と此の理解とが無くて何うして親和を保つことが出來やう。實際我々は相愛するが故に理解し、理解するが

四

故に愈々相愛して生活しつゝあるのではないか。

〔二〕此の私に取つては珍らしくない、いつもの考に到達して私はまた前と同じ黑い壁の前に出たことを感ぜずにはゐられなかつた。

我々の愛に限が無かつたら。
我々の理解に間違が無かつたら。

與へて盡きない心の所有者であり、充溢れる愛の主であることは殆んど我等凡人には不可能にさへ見える。我々はたゞ憧憬の對象として之れを思念し、聖者超人の生涯に於て之を想望することが出來るのみではないか。我々の愛は須叟にして涸渇し、我々の理解は透徹しない中に曇らされて了ふ。

我々は斯うした果敢ない愛と理解とに何故に縋つてゐなくてはならないか。（以下次號）

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「窓の光」

囚人の讀む新聞

晃南

□新聞と日常生活

さる家で近頃の事、新聞の値を上げるならモゥ取らないヨと脅かしたら、たしなめ顔の配達君『新聞をお讀みにならンと世の中ア眞暗ですぜ』と逆襲したとやら。この賢明なる配達君の說明に俟つ迄もなく、今の世の中から新聞を取り去つたなら（浮田博士のやうな所謂學者と世棄人は別として）大多數の人間の日常生活の興味は、甚だしく殺がれるに違ひない。

□有馬典獄の創始

此理窟は監獄の囚人に依つて最も適切に證據立てられる。嚴然と聳えた塀の一寸外の娑婆に什麼大事件が起らうと、見るも聞くもならない彼等は、永年の中には恐ろしく僻んで來る。其處に考へ及んだのが、此頃破獄騷ぎで有名な小菅監獄の有馬典獄で、三年前から『窓の光』と題する月刊の新聞を發行して、千七百餘名の在監囚に讀ませてゐるばかりでなく、全國各地の監獄から數千部の注文を受けてゐる。

□月一片投げ込まれる光

それは眞に『窓の光』である。迚も孤獨の囚人の淋しい心を、充分に樂しましむるに足らぬであらう。が、月に一度投げ込まれる此の窓の光こそ、年中無休の娑婆の新聞が讀者に與へる光よりは遙かに强い光であるに相違ない。四六四倍版、八頁の『窓の光』は小菅監獄教誨師の手に編輯され、囚人の手に印刷される。其編輯振りも印刷も却々の手際である。

□その第一頁

六月一日號を見ると、劈頭の論說欄に『閻魔の目玉らんと喰へ剛情者』といふ書き出しで『吾人は大勇氣を以て先づ己れの剛情に克ち、素直に非を非とし、過を過として我を折らねばならぬ。男を上げる眞の勇氣は即ち是』と結んである。綠濃き河邊の寫眞は、初夏の舟遊の景色を載せ、暗く暑い獄屋に一味の凉を入るものである。六月廿五日の地久節に就て大森皇后宮太夫の謹話の皇后陛下の御平常を掲げたのも成程と肯かれる。

□その第二三頁

第二面は新聞の外報欄で、獨軍攻擊を止めず、又も帝國海軍の偉功など歐洲戰況の記事と、フォッシュ將軍、ヒンデンブルグ元帥の寫眞を挿んで、下の方には例のハーデー翁のニコ〳〵顔も載つてゐる。第三面には松室法相の「鏡以精明美惡自服衡平無私輕重自得」とある揮毫、横田大審院長の「我國の孝道」や「内閣一部交迭」から「親孝行の爲に髮を染めてゐた小橋内務次官」まで出てゐる。

□その第四五六頁

第四面では「天幕張の成金」で稼ぐに追付く貧乏なきを語り徴兵令の改正や、「石にも目あり」と題して自然石の中から偵察してゐる獨逸兵の寫眞を載せ、第五面では海陸連絡の電話、廢物乾電池を生かす藥、人口と内地米、ナイヤガラが乾上る、胡瓜のつくり方まで書いてある。第六面の「眞に再生の人」は出獄人の復活せる生活を叙し、新銀貨の寫眞、讀者の聲「出た人から」のたより抔が見える。

五

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

口第七頁と最後の頁

犬の學校だの、犬の六感だのと云ふ面白い記事に内地觀光の生蕃の寫眞を入れた上徼の話を載せたのが第七面で、最後の頁には歴史小説「二宮尊德」六月九日の日蝕、荷車規則の改正・重要輸出入品、郵便貯金增加、自轉車規則の改正、交戰國の戰費等を掲げてゐる。以上の見出しだけを見ても、囚人が世界的、科學的の知識を得、地獄にゐても尚ほ娑婆の有樣を知り時勢に遲れないだけの事を知り得る事が判る。成績は非常によく、囚人は『窓の光』の出る日を待遠うに思つてゐる。

讀者から

平泉行

一ノ關　高畠てう子

（前略）本月初旬平泉に參り、後の思ひ出にもと、大略を書きつゞり候間御目にかけ候。程のものならねど、同所は只學者美術家には研究の大なる價値ありとせられ居候へども、場所柄の故か都の增上寺、或は下野の日光の如く普く世人に知られ申さず候まゝ、もし貴紙餘白に御記載下され候はゞ、幾分の紹介にもならんかと存ぜられ候

＊

平泉停車場より人車を賃して、寂しき農家の間を行く〳〵鐵道線路を隔てし麥畑の中に、名も香ぐはしき伽羅の御所あり、彼處の小高き岡の上に義經の木像ありと車夫の云ふに任かせ、下車して登り行けば、樹木茂れる下陰に小さき祠あり。眼下に緩く流るゝ川は昔時櫻川と稱せしとか、花散る頃は水面花瓣もて蔽はれたる美觀を想はせらる。遙か左手に小さき橋あり、往き來も稀なるべきが、彼れこそ衣川なれ、忠臣辨慶の立往生せし古跡なりとぞ。それより優にやさしき月見坂を登り行けば、國寶として保存せらるゝ佛畫、佛像、佛器一つとして二千年の昔藤原氏の隆盛と其頃を語らざるはなし。就中金銀の泥もて寫せし經文の文字にて、塔の形に書き込みたる其精巧細密驚くの外なし。名高き金色堂あり色あせたれども昔を偲び爛たる色彩の奥深く沈みたる高雅技巧の美妙、眼識なき者も賞讃の聲を禁ずる能はざりき。毛越寺には芭蕉の碑あり、「夏草や兵士共の夢の跡」同翁の著、奥の細道世に出しより、殊に此の地の名世にあらはれしとか。義經不遇にして兄の嫉視にあひ、源家建設の大功を捨て身を東北に忍びて藤原氏の庇護を受けしは昔も今も變らぬ人世の悲慘一代の英雄も爲すべきの術なきを如何にせん。古老の言によれば衣川城を落ちて後北海道に渡り、遂に東部シベリヤに終りを告げしとぞ。北海道土人の中には今猶義經を崇拜する習慣ありと傳へらる。東北の習ひとて快晴なりし日も、太陽山の端近く沈み行くまゝに、吹く風秋に寒ければ急ぎ下山して家路に就く。時は大正七年五月五日花の頃平泉に遊びし記を作る。

人の世は變り行くとも花かげに
昔ながらの跡を見るかな

弊店の特色
御召　織式　縞染
△古手物モ新規同樣ニ相成候
△出來期日ハ最モ正確且ツ迅速ヲ旨ト致シ候
△御註文ノ際ハ御一報次第早速店員御伺御用命ニ應ジ候
中澁谷六百十八番地
（玉川電車通西郷邸前）
百足屋染物店
平田係太郎

東京市麻布區三河臺町一三六
本木停留場脇電話芝四〇七番
升田醫院
內科小兒科
外科一般
X光線科（治療・診斷）
『隨時入院』
院長醫學士　升田廣
長崎醫學士　山本猛虎

（東京有樂町一ノ五）
シンガー裁縫院
●和洋服刺繍　●ミシン專修
生徒募集
●毎月五日迄入學

六

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

皿洗ひしながら

八年の苦學

最近歸朝の大岡蔦枝女史

＊＊

『まだ坐る事が下手で困ります、それに和服を着た四五日は何ですか胸の邊りが窮窟でして…御承知の通り只今はローネックが流行つて居りますので…』快活な笑を漲らせて齒切れの好い發音を交へた話の主は、米國の學窓に八年間を送つて近く歸朝されたる大岡つた枝女史である。女史は歸朝早々故郷和歌山に老いませる兩親を訪ひ、漸く母校女子大學に歸り、新泉寮内に若き學生等と共に起居を共にして居られる。

『もう一年居りたかつたのですけれど、持病のリウマチスで右の腕が痛んで、勞働には堪へられないし、費用は要る許りでした。同じ費用も學費としてならば樂しみもありますけれど、病氣では心細い事です。試驗の答案を書くのにも不自由でしたので、決心をして歸朝する事にしました。歸ればもう父は八十餘歳で殊に兩眼は不自由でございますし、又折返して渡米する譯にはゆきません』といかにも殘念さうに、思ひ殘せし異郷の空を慕ふ胸には、まざ〳〵と新しい記憶の糸がたどられる樣であつた。

大岡蔦枝女史

＊＊

『ホノルヽには二年半程居りました。始めは言葉が不自由で閉口しましたが、いつの間にか自然々々に浸み込んで分る樣になりました。完全に話す迄には三年はかゝりましたらうか。最初はグランマー・スクールからハイ・スクール、カレッジとかう順にしてゆきました。いづれも働きながら勉强したのです。働きながら勉强するなどゝは、日本では絶對に出來ない樣に思はれますが、あちらでは殆どこれが普通の樣になつて居ります。スクールガールなどは普通です。私は參りましてから間もなく夏の休になりましたので、早速働きに出ました。始めてした仕事は……さう〳〵、キャッスルホームへ行つたのでした。慈善事業の一つで、子供などを預つて居る處です。まだ言葉が出來ないで、そこに居たお婆さんによく間違へられて困りました』

から云つて異國に於ける最初の夏の思ひ出を、懷かしさうに思ひ浮べる間にも、女史の坐せる膝は痛さうに動いて居た。

＊＊

『イヽエ働く口にはちつとも困りはしません、新聞の廣告で自分の好きな處へ好きな仕事に行かれますもの。廣告を出しますと直に來て呉れとか、或は自動

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

車で雇ふ方でやつて參ります。けれどもこちらから行つた方が便利です、先方の家庭が直に分りますから。そして働く時間も正確に定つて居りますから、さつさと學校へ參られます。私は幸に好いルームばかり與へられました。知らない間に家の主婦が窓の布を取換へておいたりしてくれます。一週に一度は掃除人が巡つて來てきれいにして行つてくれます。私の役は皿洗ひでした、さして苦勞はありませんでしたが　焦げついた鍋をこすり落す時に、痛い右の手が一番堪へられませんでした。學校で二時間も續けて筆記をします時にも不便でした。あちらの學生は皆質素ですから、金はかゝりません。普通に働いて十弗位の收入はあります、其中小遣ひとして五弗もあれば宜しいのです。學生服はかなり金持の家の人でも一樣に質素です。胸へ飾る物でも普通黑と赤が一つづゝハンケチが一つあれば一年中もかけられるのですから。此中に居て暫く振りで日本へ還つて見て、高價なもの許り身につける方々をお見掛けして驚いたのでした。』

＊＊＊

「私が最近に居りましたのはロツキー山脈をひかへて、西海岸に面したミルス・カレッジと申すのでした。此處は此邊で唯一の婦人のみのカレッジでして私の專門にも一番適當した學校でした。尤も學費は少し餘計にかゝるのですが、經濟の仕方に依つて苦しい事もありませんでした。體が達者で意志が堅固でありましたならば、あちらで獨立勉强し、成功なし得る事は難くはありません』女史の話は綴々として盡きない。そして又時機の來るを待つて、再び彼の地の學窓に學びの意志を貫徹したいとつけ加へられた。入梅近い雨雲は鬱陶しく寮舍の窓にせまつて居た。學生の留守なまひるの頃は物靜かである。旅路遙けく旅裝を解いた君が大トランクは、寮監室のかたすみに、疲れた樣に沈默を守つて居た。

（佳子）

貧が生んだ
轉氣療法
松崎直子刀自の事

▲府下澁谷の廣尾に松崎なを子さいふ五十格好の婦人が、轉氣療法實行會さいふものを開いて居る。彼女は貧にせまり子女の病氣死に瀕し、恰も絕望の淵に沈まんさしたる時、自らの一心より大靈の力の無量無邊なるを悟り、固き信念のもさに氣合を以つて子等の病を癒やした。それ以來精神的療法の偉大なる効力を知るさ同時に、一般病者の來り求むる者を救はんさ、此の會を創設するに至つた。彼女は言ふ『病氣は逆氣でありまして、それを順に轉ずれば健康に戻る譯です。醫藥の前に先づ轉氣こそ必要であります』さ。彼女は毎日焦げ茶のガウンの樣な上つ張りを着て、患者に大靈の偉力を解き、エイツ〳〵さ大きな氣合の聲をさゝろかせて居る。

▲斯くなるまでの彼女の過去には、も一つ哀れにも奇異なる物語が潜んで居る、焦茶のガウンさ氣合の聲さにまつにれる彼女も、若き頃は世の常の乙女さ變りなく市内の某ミッション女學校の生徒であつた。紫紺の袴さノートの包みさ、月さ花さ、華かなりし彼女の學生々活は、妻さいふ名に依つて閉ぢられた。越中島の水產講習所出身、松崎正廣さよぶ青年が、撰ばれたる彼女の良人であつた。睦じき家庭の中に四人、五人、六人目の子供の生れた時、夫君は水產技師さして、メキシコの地に旅立たねばならなかつた。彼地に落ちついた良人の許よりは、月百五十圓位の送金さ共に、善き音信れは絕間なかつた。乘馬さスペイン語を學べよ……さ。匂ほゝゑみつゝ、母さ子は父の許に行かん日ひなつかしき夫君の文開きては、そゞろにの近からん事を願ふてゐた。

▲良人遠く行きて四年目の年は來た。さうして此時から、良人の文は來なくなつた。勿論、金も來ない。一家は急に奈落の底へさ傾き入つたのである。折節子等の病は母人に今日を與へしめた。良人の音信絕えて一年餘、はからずもその友人來つて、夫君彼地にて烈しき赤痢を病み、遂に死んださ告げた。父の死良人の死を知らずに一年餘りを過した一家も、大正の現世にはほ存在して居るのである。四十四才にて死に逝きし日本男子の墓標は、マサトランの風雨に晒されて、こゝに五年、二十一才の遺子は、是非さも父の墓を掘りに行きたい、懐しい父の骨を抱いて歸りたい、さ、其の母にせがんでゐる。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

私の讀書（四）

水田光子女史

お伽文學に集中

▲『私は子供の時から讀書は何より好きでして、隨分雜讀した方です。中でも文學書が好でしてね、漱石さんの物など大抵讀んで居ります。』かう云つて語る人は、近頃毎月二三の少年少女物にお伽物を執筆して、可愛らしい讀者の憧憬の的と成つて居る水田光子女史である。滿目青葉に包まれた大塚なる高等師範附屬小學校の古い建物の中はひつそりとして居る。時々先生の太い聲がとぎれ〱に教室から洩れて來る。

▲地味なネルの單衣にくすんだ色の袴をつけた水田先生は、お茶の水の師範を出で丶から十三年一日の如く、此中に小さき者を相手にして、懷しい先生の名を恣にして居られる。『それ程文學書の好きでした私が、此の二三年お伽物の方に集注する樣になつた動機と申しますのは、恁うなのです。』女史はかう云つて、讀破し來つた古い御自分の過去の頁を繰り擴げるのであつた。

▲『それはいつの頃でしたかかなり古い記憶です、米國のなんでもまだ若い婦人らしい、ブライアントといふ人の著書を讀んだ事がありました。書物の名は“How to tell the children”だつたと覺えて居ります。内容は確か子供の讀物としてどんな材料が好いか、又話すのにはどういふ方法で話せば一番分りが易いかといふ樣な事が書いてあつた樣です。此著者は獨力子供の學校の經營者らしく、專門に此方面を研究してゐる人でせう。次にも一つ讀んだのはづつと新しい物で、南米の東海岸に住む土人の風俗習慣を、科學的系統立つて、人類學方面に渡つて迄も委細に研究して書いてありました。これも矢張婦人の著書で、かうして一度ならず二度までも深い專門的の婦人の物をみました時に、ある人が、私に忠告して下つたのです。外國の婦人は此樣に專心子供の爲に、或は遠い海の端の土人の中へ迄も入り込んで研究を重ねて居るではありませんかと。私は此言葉を聞いた時、心から共鳴したのでした。そして私は今迄の雜讀を改めて、つひ三年程前からお伽物に頭惱を向ける事にしたのです。

▲今迄に本から學んだ事讀み溜めた事柄などを材料として、童話物を考へますのです。私の讀めるのは獨語か英語ですが、今日は澤山書物もありますので手つ取り早く釋譯を主に讀みます。昔讀んだ物にも又新たに此の見地から味ひますと、更に違つた發見を致します。只今は賴まれる二三の雜誌の外おとぎ文庫といふものを出して居ります。毎月それには五つか六つ程書きますのが片手間ですから骨です。それに飜譯や燒きなほしよりは、矢張り創作で無いと面白くありません。只今必要上讀んで居ります書物は、古めかしいのですが住吉物語や紫式部日記です。德川時代のものも讀んで居ります。此外謠曲でも、お經でも、支那の物でも、凡て材料にならないものはありません』比喩經の面白さや謠曲の藹たげなるを例として、女史の眼の注がれざるは無いと思はれた。博學多識のお話に眩惑されて居る時、時間の鐘は鳴り響く、子供等の群はなだれを打つて廊下へまろび出た。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

再び兒童の惡戯に就て

—田中芳子樣に—

佐久千代子

＊

御芳名は兼ねてより伺ひまつり居候へ共、目のあたり御姿拜せしは、過ぐる四月、櫻楓會バザーの折にて候。さりながら日頃交際下手の私故、終に御挨拶も申上ず、失禮致せし事、只管御許し下され度候。扨婦人週報第十八號紙上に掲げし私の「子供のする二つの惡戯」と題する記事に就て、深く御目を止めさせられ、五月廿四日の婦人週報紙上に御細やかなる御注意と、偉大なる御教訓とを戴き、有難く再三再四拜讀仕候。小さき樣なれど、其の實大切なる此の問題は、單に机上の空論に候はねば、最も愼重の態度を持つて、理論と實際に照し考究致し度、又其歸着點を明かに致す事は、獨り私の幸のみならず、世の御子樣を持たるゝ御方々にも、多少の、御參考になり候はんかと存じ、失禮をも顧ず、私の考へを再び申上候まゝ、何卒御暇を得させ給ひし折、御腹藏なき御意見御洩らし下さる樣御願申上候。

＊＊

私は徒らに事大主義を取り、又子供を無二無三嚴重なる育て方のみは致さぬ丈の自信を持ち居り候。子供や女中に對し、事毎に小言がましく申すは寧ろ無益と存じ居候。其代り或機會に際しては必ず納得の行く迄で話すの主義を取り居候。さ候へば先頃の傘立て一件に就ても、勿論損失の問題抔を問ふ限りに非ず、と申上げる程念頭にかけぬ譯には候はねど、而も其より念頭に懸る事は、倒すや否や逃げ隱れし一事に候。「惡戯と云ふは大人の付けし名にて、其行爲に善惡の差別なし」と仰せられし事、私も至極御同感に候。つまりあなた樣の御意見は兒童の研究心を出發點とし、私の考へは兒童の德儀を主とせしにより、錯誤の起りし事と存じ候へども、之を兩立さするは誠に難事と考へられ候。斯かる場合、其何れを取るべきか、淺學卑才の私抔には到底斷定し得る事柄に候はねど、左に兒童心理學の大家が、兒童の活動性に就て云はれし事を少し書きならべて見度と存じ候。

＊＊

「昔より教育の意義に就ては、澤山の學者が色々な說へ稱へて歸着する所なきが如し、或は鍛錬主義と稱し、兒童に對して非常に嚴格なる取扱ひをなし、凡べての物を教育者の理想に陶治せしめんとする者あり、又或學者は自由說を稱へて兒童の天性を障害せざる樣、自然的に發達せしむるが教育の最良法なりと說く者あり、而も何れも極端の說にして、或特別の弊害を除くの外、普通の原理としては採用し難き說なり。而して兒童の活動性中には社會的の者と、非社會的の者とあり、教育とは畢竟非社會的の者に發達の機會を與へずして、社會的の者に發達の機會を與ふる樣なす點に存するなり。此社會的の者を善と稱し、非社會的の者を惡となす。然れども之は成人の解釋にして、兒童の活動其者に對して善惡の差別を付くべき者に非ず。而して教育には廣義の教育と狹義の教育とあり、廣義の教育とは、自然より或は社會より種々の陶汰的影響を受くる事。狹義の教育とは「兒童期三歳より十二三歳迄で」に於ける活動に就て、教育者が一定の理想を以つて、其社會的即ち善なる活動を選び、非社會的(即ち惡なる)活動を捨てゝ、所謂人を道徳的存在物たらしむる者なり。故に教育上兒童の活動は最も尊重せらるゝ者にして、教育者は之を撰擇する事と、一定の方向に向けしむる樣なす事にして、抑壓若くは消滅せしむる事は不可能也」と。

＊＊

「兒童の行爲に善惡の差別はなし」と申し候ものゝ、之によつて狹義の教育者として、一部の責を負ふべき母親たる者は、

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

子供をして道德的存在物とせねばならぬ事は自明の眞理かと存じ候。子供の研究心、活動に就てあれも物理の研究心、之も化學の無自覺研究心とする點は結構に候へども、何れの行爲も無差別平等として、正邪善惡の觀念抔は自然について來る者よ、と葬り去りし結果は、如何になり行くべきか。之に就て猶深刻なる經驗を御話し申上度と存じ候。

＊＊三年前の二月と覺え居候、私の二男は通りに遊び居る中、見知らぬ子供の近より來りたるに、突然左眼に玩具の吹矢を射られ、泣き出したる中に吹矢の主は走り行き候。泣聲激しく歸宅せしまゝ、私も驅け出し候。見れば頰を傳つて流るゝ血潮に驚き、痛み所を問へば眼なりと答へ候。不取敢眼科醫院に連れ行き、應急の手當てを受け候。目擊せし數人の人に依り、或る小學校の六年男生と分り候處、翌日校長に面會致せし折、詳細の事情と家庭の樣子迄も明かに檢べられ候。子供は幸ひ瞳を三分程懸け離れしため、一眼を失はずに濟み、不幸中の幸とよろこび候。之れ抔は小學校の六年にもなり、物理、化學の智識も、少しはある事に候へば、立派なる物理の實驗者、（無自覺ならぬ自覺ある）と一方からは申さるゝならむと存じ候。而し人の眼を吹矢で射ると云ふ、一步間違へば一眼を失ふ迄になす實驗者、正邪善惡の分別なき行爲、之をも惡戯と云はず、正邪の念を明瞭に知らす必要なしと、葬り候はゞ、延いて社會に及ぼす影響は如何ならむと戰かずには居られず候。それ故に傘立てを碎きし音と共に、子供は逃げ還れ候行爲に善惡の名目を付けられず候共、教育者は此場合惡なる事を知らすが當然と私丈けは考へし者に候。若しも他家に行き上等なる燒物の傘立にても碎きたらむ折、其れにても物理研究の爲と申され候哉。無自覺の物理研究に重きを置くべきや、無心に逃げしを德義問題として重きを置くべきや、私は矢張り當時自分の取りし處置が適當と信じ居り候。物理の研究心や好奇心も、此行爲の惡しきと知らば、却つて兒童は他により良き方法を見出す事と存じ候。内よりもえ出づる求智心は、決してこれ等のために消滅する者にてもなく、又指導者は之に代る方法を持つて求智心を滿足せしむべき者と存じ候。要するに德育問題は人格を造る根本要素にして、凡べての事は第二に來るべき問題に候。三ツ子の魂百迄でとは、幼な時代に根本を培ひ・其塊が軈て將來に及ぼす影響は大なりと申す意味にては候はずや。家庭に於て德育の涵養なき子供、智育のみに重きを置かれた子供は、人間としての眞相を握み得ぬにては無きかと存じ候。其養成の仕方は又むづかしきもの、誠に御言葉の樣に注意すべきは、人造る人の上にこそ候。何卒今後共色々御指導いたゞき度、もし言葉足らずして、失禮に渉りし節々は平に御許し下され度候。

蛋白質に富む
植物ミルクフード
見本袋入拾錢　郵税二錢
三十回分　五十錢
小包料市内四錢内地八錢
滿、鮮、臺、樺、金廿錢

救命瓶
並製　金參圓
特製　金五圓
學生用一組　金一圓四十錢
送費　内地卅錢。滿、鮮、臺、樺、金五十錢。海外金參圓
婦人週報社代理部取扱
振替東京三一六六〇番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

鮫肌の事

結核と關係あるもの

松下皮膚科病院長　松下克治

▲婉麗花を欺く婦人でも、肌がざら〳〵と鮫のやうでは、全く興が醒めざるを得ない。そのくせ奇麗な人に限つてよくこの鮫肌を見るのである。顔ならば白粉で塗り隠しも出來やうが、肌が鮫のやうと來ては、何としても隠しやうも無く、幾ら磨き立てゝも滑にならぬ者が多い。尤も鮫肌で痛い痒いといふ自覺的苦楚はないが、肌觸りが悪く、外觀が頗る醜いものである。

▲鮫肌は肌がざら〳〵して、艶がなく、一般にどす黒く、加之けに粟粒のやうなばら〳〵した小さな吹出物が現れてゐて、恰度鶏の肌か、又は身の毛の總毛立つた狀態に比較が出來やう。

この鮫肌は皮膚病上から云ふと、只單に一種の病氣ではなくして、多種多様な病氣が含まれて居るのであるが、其の中でよく見るもの、二つを此處に述べて見やうと思ふ。

▲第一は主に四肢の伸展側に來るもので、凝まつて出來ることもあり、ばらりと出來る事もある。この種のものは、奇體な事には婦人殊に思春妙齢の者に多いのが、注意を拂ふべき點である。色合は普通の皮膚と同じか、或は稍紅色を帶びて居る場合もある。之れは一定の治療を以てすれば、容易に退行消褪して仕舞ふものである。

▲第二は上述のものに類似してゐる腺病性苔癬といふ鮫肌であつて、好んで少年少女を襲ふもので、隨分澤山に見掛ける。之れに罹つてゐる子供は、腺病性と云ふ丈けに、大抵は他に何かしら潜在性の病氣を有つて居るものである。例へば肺尖加答兒とか、瘰癧とか、眼の疾患（水泡性結膜炎）などである。この種類も、前同様に、自覺症のものとしては殆ど訴へない。只胸、腹、背部と到る所に出る小さなぼろ〳〵で、初めの間は保護者でさへ、なか〳〵氣がつかぬ位であつて、集簇して來るやうになつて初めて目に止まるのである。

▲この種の鮫肌ある小供は、つまり體質上の缺點のある證據であるから、將來の保健上警戒を要すべき筈であるのに、存外無頓着の家庭が多いのである。ヤコピー、ペットマン等云ふ斯界の泰斗は、このぼろ〳〵の中から結核菌を檢出したと迄主張して居るから、この鮫肌は結核と大なる關係があることは否まれ

お化粧問答

問　齲歯が多いために、何時も歯醫士の御厄介にばかりなつて居りますが、直らないで困つて居ります。（本郷　綠子）

答　歯が餘程お惡いのでせうと存じますが、平生の御手當を御注意なされば餘程齲歯は防ぐ事が出來ます。夫れにはなるべく鼻で呼吸される習慣を附けられ口中へ黴菌の侵入を防ぎ、尚御食後には一度微温湯で含嗽をなさいまして、歯間に汚物の挾まらぬ御注意が肝要でございます。朝は歯磨中で歯の爲めに一番よいクラブ歯磨をお使ひになるは勿論三度の食事後就寝前には微温湯にクラブ水歯磨の二三滴を入れて口を嗽ぎ、歯の大敵たる酸の發生を防ぎ、歯と口中の清潔を期せられる事が大切でございます。苟も衛生に御注意なされる御家庭では勿論クラブ歯磨の御愛用が盛でございますが、學理上、實驗と化學的に歯を强く美しくするのみならず、

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ぬ譯である。從つてこんなぼろ〳〵が出來た小供は、一應醫師の診察を受けて、この種のものではないかを確めて置く必要があると考へる。

▲次に斯る子供には平素感冒を豫防し、適度の運動を奬勵し、轉地海水浴を勸めねばならぬ。この轉地は、色々の事情の下に實行困難の事ではあるが、鮫肌を癒す上にも、前に述べた潜伏せる病氣を驅逐するにも、大なる効顯があるものであるから、時機を選んで遣るが可い。傍ら藥劑としては、現今主に肝油、鐵、砒素・沃度劑等の强壯劑が用ひられるのである。

果物料理と白味噌の作り方

藤本武子

果物は適度に攝れば、人體の新陳代謝を促し、活力を增し、食欲を進むる等の効あるは、人の知る所であります。これを種々に調理して、他の食品に加味する時は、一層吸收率を增進いたしますので、季節向きのもの、二三種を御紹介致します。

□林檎フリタース

林檎の皮を剝き、四つ割として蕊を去り、竪に三分位の厚さに切り、砂糖少量とレモン液數滴を加へ、器に入れ蓋をして二三十分間の後水氣を去つて置きます。別に洋粉一合に、鹽少々と玉子の黃味二個分を加へて攪き混ぜつゝ、牛乳五勺を加へ、その中に玉子二個分の白身を堅く泡立てゝ能く混ぜ合せたものを作つて、これを前の林檎の衣として、牛脂の沸騰つた中に入れ、少し浮き揚るまで兩面から揚げて掬ひ出し、新聞紙の上に載せて油氣を去り、菓子皿にナプキンを折つて其の上に盛り、ハードソースをかけて出します。

ハードソースは大匙一杯のバタを鍋に入れて煮溶いて、砂糖大匙一杯を加へ、能く混ぜて火から下ろし、レモン液を少し加へます。

□ソテー・バナヽ

バナヽの皮をむき、竪に二つ割にし、洋粉をつけて、別にフライ鍋に五本のバナヽにつきバタ大匙一杯位の割にしたものを煮溶いて置き、バナヽを兩面から煎燒として皿に盛り、その中に粉砂糖を撒りかけます。

□オレンジのフリタース

蜜柑の皮を剝き、一袋宛に分け、熱湯の中にざつと浸し白い筋を丁寧に取つて二三ヶ所位に庖丁目を少し加へ、前のフリタース衣を着けて、牛脂で揚げ、油氣を去つて皿に盛つた上に、粉砂糖をかけて出します。

白味噌の作り方

白味噌を家庭で作る事は容易くもあり、夏分は安心していたゞかれます上に、極く新らしいので旨味しいことは格別です。左にその製法を掲げて見ます。

大豆一升につき鹽四合、花麴五枚。

大豆を前夜から水に浸し置き、翌朝水洗ひして釜に入れ、充分水を加へ、にたてゝふき上つたら少し宛水を加へて、軟らかに煮て(瓦斯火ならば二時間位で軟かに煮えます)笊に取り出し、煮汁を切り、暖かい内に木鉢か桶の中に入れ、擂木でよく搗き鹽を少し宛加へて搗き混ぜ、麴の中にある塵を丁寧に取り去り、手にて能くばら〳〵にほぐし、鹽のやうに少し宛搗き混ぜ、豆の煮汁を適度に加へ、全部搗き混ぜたのを冷まし、壷か乾燥した桶に堅く詰め、其の上を御飯杓子で平らにならせ、白紙をのせ、其の上に豆の煮汁を塗り、黴るのを防ぐ爲に鹽少しをふりかけて蓋をし、目貼りをして、凡そ二週間も置けば、風味のよい甘口の白味噌が出來上ります。花麴は煮豆屋に一枚十三錢位で賣つて居ります。暑中は味噌が醱酵しますから、煮汁は入れない方がようございます。

防腐、消炎、殺菌の力を具へるものとして陸海軍及び帝國大學並に各醫藥專門學校でも理想の齒磨として推奬されて居ります

問　私はお化粧致しましても目がうるんだ樣になり泣いた樣な目になつて淋しく見えますが。(淡路　一二三)

答　一體にお顏の淋し氣に見える方は晴れやかなお化粧をなさる必要があります。夫かと申して彼の女優式のケバ〳〵しいお化粧は最早廢れて矢張純日本固有のお化粧法に幾分外國の美點を加味したクラブの淑女式お化粧法が相變ず、全盛を極めて居ります。淋しい目のうるんだ方はクラブ白粉でお化粧が一通り濟ましたら一應目の下を濡手拭で拭取り、お顏にホンノリ櫻色の健康色を現すクラブ頰紅を目の縁から兩頰へかけて塗りますと晴れ晴れとした美しいお顏になります。尚ほ目の出た方は目の上に白粉を薄くし、目の凹んだ方は目の上を濃く致しますとよく見えます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

人相改造術

靈光から發する美

斬雲

□山出し女も二年經てば

田舍から出て來る女中が、二年も經てば氣の利いた江戸ッ子になり濟まして、顏付き迄が全然一變します。持て生れた顏の作りは、滅多に改造されませんが、顏に現はれる表情から生ずる人相風貌は、其人の心掛け次第で隨分と改造が出來るものと思はれます。當節の美顏術は皮膚上の細工で、顏の造作改造術も一切り流行したのが失敗に終つた樣です。何んでも鼻を高くする方法で、注射するとか聞きました。そして當分の間鼻がふくれ上つて化物の樣な顏になり、外出も出來ず、此儘鼻が腐れ落ちやしまいかと案じられる樣な―それは大變な改造術だつたと聞いて吹き出した事がありました。

□砥の粉細工の化物

今日の人智を以てしては、皮膚を白くする事は出來るが、顏の造作を改造する事は駄目の樣です。芝居の舞臺だと、薄暗く且つ觀者との間に距離があるから、繪の具細工も成功しますが、四疊半の對面では顏の上に顏が重つて居る樣で、砥の粉の化物とでも言ひたいのです。斯うなると、人相、風貌、―即ち顏付きの改造のみが、唯だ有望な事になります。山出し女中が、二年にして氣の利いた江戸ッ子になると言ふ事は、持つて生れた顏の美醜に拘泥して、鼻が腐る樣な注射に苦心する婦人に取つて眞に有效な敎訓です。電車の中で能くお目に掛る、耳や生へ際の粗末なペンキ塗り細工に苦心する前に、先づ人相改造術を深く考察する必要があらうといふものです。

□「獄中に在る者の如しぢや」

人間は誰しも立派な人相が欲しいものです。色が白くても下品な顏や狡猾な人相は羨ましいものでありません。色が黑くとも輪廓が惡くとも、造作に多少の故障があらうとも、―即ち形式上の分類からは醜婦と言はるべき顏でも、心掛一つで形式分類上の美人以上に立派な人相になれます。世間で能く言ふ、『彼奴馬鹿面して居る』といふのは、魂の居處が違つて居るから、申分の無い顏も馬鹿面になるのです。芝居で見る馬鹿殿樣の顏などはそれです。扨て立派な顏になるには、專念熟慮に依つて眞の智慧を研く事が第一必要です、必ずしも萬卷の書を讀む必要はありません。一冊の書を精讀して、之を人生の實際と引合せて工夫し發明する事が必要です。單に物を有るが儘に知る事は、智慧智識ではありません、眞に徹底して識る事が必要です。併し智識があつても心が正しくなければ奸智になります猿の人相は氣が利き過ぎて嫌味です。馬の方が一層立派な人相を持つて居ます。金色夜叉の一節に紅葉山人の筆で作つた第一の美男子間貫一が、高利貸しの手代になつた爲めに、人相が變じて「貴樣の顏を見い、獄中に在る者の如しぢや」と荒尾に罵られる處が、私には此作物の中で一番深い印象を與へました。

十四

□人形美は低級

人相改造術は心の美人になる事です。己れの醜貌を耻ぢてヒステリーに陷るよりは、眞の智識を磨き心を正しく持つて、靈光自ら顏に發する樣に心掛ける方が得でせう。今日大抵の婦人は眼光紙背に徹する丈けの工

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

夫と努力を以て讀書する熱心がない様です。所謂、醜婦が社交の中心人物となり、衆望を集めて榮譽ある一生を送れる例は澤山にあります。人形美は最も低級の美です、あの顔がといはるゝ不別嬪が心の働き一つで男心を惹付けた例も多い事です。

雷様のお宿

(下)

悠子

「誰か來たらしい」としやがれた恐ろしい聲がしたかと思ふと、大きな戸がパッと開いて、大男が女の子の前にニユッと立ちました。その人は重い長靴をはいて、だぶ〳〵の上衣をきてゐました、そして長い髭の下には、一尺位の巾の襟巻が見えてゐました。

「戸を叩くのは誰だい」とその人は云ひました。その聲があんまり大きかつたので、女の子はびつくりして耳をおさへました。

「あゝお前か、其處に居たのか。あんまり少さいものだから、私に見えなかつた。さアお入り」とその大男は又大きな聲で云ひました。それは雷様だつたのです。

やがて女の子は廣い部屋へ案内されました。其處には今まで見た事もないやうな大きな爐に火がどん〳〵燃えてゐました。人の高さ位の火箸が、その隅の所に置いてありまして、もう片方の隅には灰かきが揃へてありました。爐の前の棚の上には、長い煙管が置いてありました。「お前さんが座る所は床の上つきりないね」と雷様が云ひますと。女の子は「私この寢臺の上に座れますわ」と申しました。すると雷様は大きな聲で笑ひましたので、女の子はびつくりして急いで又耳をおさへました。

「それは私が足を掛けるものだよ」「そうですか寢臺に丁度いゝ位の大きさですね、大變柔かで氣持よささうですこと」やがて雷様は長い煙管を取り上げて、それに火をつけました。するとその光がまぶしい程きら〳〵して窓の外まで輝きました。「みんなはこれを電光だと云つてゐます」と女の子が云ひました。

「北の方にゐる百姓は雷光が南だから旱魃になるだらうと云ふし、南の方の百姓は電光が北だから雨になるだらうと云つてゐるよ。」と雷様は話してきかせました。そして横を向いて火箸をいぢつてゐました。するとどうしたはずみか火箸が床に落ちて、それは〳〵大きな音がしました。まるで太鼓のやうに床が鳴つて、たしかにさつきの千倍位大きな音でした。女の子は又耳をおさへましたけれど、それでもこだまが山を下りて行つて、村の方に響いて行くのが聞えました。

「これはいけない。南の方の旋風がこの音を聞くと、直に飛んでくる。それから西風もこれを聞きつけて急いでやつてくる。旋風と西風は私が出掛けるだらうと思つて雲を引き連れて來るに違ひない。おゝもう來た。」と雷様は一人言を云ひました。

女の子はそれを聞いてゐましたが、間もなく風が窓の所でがたがたいふのが聞えました。そして鍵の穴や、隙間から室の中へ入つて來ました。

「私はこれから出掛けなきやならない。彼奴を靜にするには、他に方法がないのだよ」と雷様が云ひました。

「あゝ、いつでも私が出掛ける時は、何時ときまつていないのだよ。ある時は一寸遊びがてらに出かけるし、ある時は行かなければならないから出掛けるのさ。私が歸つてくるまで待つてゐないか。」

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「いゝえ。家があんまり大きいのですもの。私一人ではこわくて居られません」
「それは困つたね。ぢやお出で私が車に乘るところを御らん」雷様と女の子は入口へ出てきました。すると風が石段の所へ雲を連れてきましたので、雷様は直それに乘りました。
「さよなら。私が見えなくなるまで其處にお出で」その内にびかつと何か光つたと思ふと、ばちつと音がしてやがてごろ〳〵と鳴りだしました。雷様は雲を車にし、風を馬の代りにして、向の小山や村の方へ唸りながら行つてしまひました。女の子はそれが見えなくなるまで立つてゐましたが、やがてさつきおぢいさんに別れた所へ歸つて行きました。そして知り度いと思つてゐた事がわかつたので、大層よろこんだといふことです。

（をはり）

小説　愛

木内錠子

第二回

二人の若い娘は二階から下階と順々に家の中を見て歩きました。バットの兩親が永らく住馴れた家は、部屋の隅々迄娘の身になると貴とい思出が籠つて居るのでした。

彼女は家の女主人として實に申分なく一家を治めました。一糸亂れぬ整頓の跡、行屆いた清潔さ、それで居て驕奢と見られる點は兎の毛で突いた程も認められません。此樂しげな恰かも微笑んで居る様な住居に一度足を踏入れた者は、誰でも云ふ可からざる奥床しさと親しみとを感ずるのでした。

最後に二人は客間へ入りました。此家に起居する人々の趣味習慣が遺憾なく此一室に悉されて居るのでした。マウリー氏は至つて骨董好で、地方などによくある古風な彫刻のある器物を集める事に沒頭して居りました。座敷の片隅を見ると、手まめな昔の人達を忍ばせる紡績車、壁の下に置かれた優雅な形狀の食器箱、中には各地方の古い陶器、金屬類の小皿や杯が一杯詰つて居ります。

勿論書物はゆるがせにされて居りません。板壁に寄つて嚴然と立つた巨大な書架、窓下の大きな卓上には新聞や雜誌が秩序よく取集めて有つて、此家の人達が科學文藝の兩方面に暗くない知識を蓄へて居る事が分ります。それと反對の側にはバットのピアノとマウリー氏の机とが置いてあつて、壁間には女主人の技術的才能を語る明快な水彩畫や、スケッチなどが所せまく掲げられて居ります。

十六

「全く貴女の許はいゝのね、此處へ來ると餘計私の家の汚ならしさや、締りのなさ加減が目立つやうでいやですわ」

さも〳〵感に打たれたらしくラッシエルは重い嘆息を洩すのでした。

「さうだと却つてお氣の毒でしたわね、」バットは輕い微笑を見せて「けれど貴女だつてしようとさへ思へば出來る事なのですよ、家庭を本統に愛する心があれば――兄様達に親切を盡して進げやうといふ熱誠があれば……

……」

「出來ない事はないかも知れませんけれど、私は正直、不精者なのよ、貴女よく御存知だわ。それに兄様達は中々あばれ者ですからね」

「男の子の當前です。けれど貴女の方から進んで漸々と家庭と云ふものに趣味をもたせる様に

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

仕向けなければなりません。…

…まあお聞きなさい。乳母のペロンヌの機嫌が困難しい事も私はよく知つて居ます。けれども老人のことですからね、貴女の方だつてあの年で貴女方の面倒を見たり、家の仕事を執る勞作を思やらなければなりません。ちつとは手助けでもしてやる樣に心懸けなければ……」

「…私の爲た事は皆失敗でしたわ」

「本氣でした事なの、何處迄も忍耐強く……」

「否、私何も彼も云つて了ひますわ。二日丈よ、貴女の仰在る通りに働いて見たのは…衣裳箱を掃除したり、お花を活けて見たり…でも其樣なことは何にもなりませんでしたわ。家の誰一人だつて見て吳れた者はありませんもの」

「それは今はさうでも、兄樣方は漸々と大人になられます、室の裝飾や衣服などの事に細かく氣の付くやうになるのです。食事だつて贅澤にとは云ひませんが食卓に向つて氣持よくお箸が取れるやうでなくては。もう一層突込んで申しますよ、兄樣方は大層貴女を可愛がつてるのです。ですけれど…貴女服裝やおたしなみにもう少し氣をつけなければ…私餘り貴女にひどくつて？」

ラッシエルは髮の根迄赤くして遣瀨無さゝうな目差を格好の惡い鳶色の衣服の膝の邊りに落しました。無雜作に束ね上げた髮には、何の思附もなく、帽子は皺だらけでした。

パットは優しく彼女を抱き締めました。

「私、今日は思ひ切てひどいことを云ひますね。私は貴女を怒らして見たいと思ふ程可愛く見えるのです。其樣な事は如何でもいゝわ、戯談ぬきで全くおたしなみにもつと注意しないと―ちつとの心懸で雜作なく出來る事なのですよ。家の祖父樣は明るい、どちらかと云ふと少し華手な色合の衣服を私に着せる事が好なのです。內面的に淋しい私共の生活が和らげられると申します。貴女の兄樣方だつてさうでせう、其鳶色はお止しなさい。薔薇色が貴女にはうつりますよ。一つ試して見ませんか、早速グルノーブルからヴィシーの麻布を取寄せませう。そしてお揃ひに素敵なのを裂へませうよ」

「おゝ貴女は何と云ふ御親切な方、…母樣が亡くなつてからと云ふもの、私は全で野原の雜草みたいに育ちました。誰一人關つて吳る者があらうではなし、兄樣達だつて可哀想ですわ、親身に思つて世話をするのは私限りなのですものね。私は不及ながら母樣の代りにならなければなりません。」

「貴女には出來ます。貴女の努力も漸々と兄樣が認めませう。」

「私は此頃寫眞に夢中になつて居ますの。ピエールが大變熱心なものですから、其手傳ひながら私もつい引込まれて了つたのです。」

「さう、寫眞は慰みとしてはいゝものです、…もうお說敎は止めませうが…慰みは慰みとして置かなければなりません。餘り熱中することは――」

「何て貴女は凡帳面なのでせう私にたつた二つの姉樣で居らつしやるのに――」

パットは淋しく微笑ました。

「其樣な事が何の益に立ちませう。私は却つて貴女の快活と無邪氣とが羨しいのです。私共の周圍には不幸ばかり重なつて、…私は知らず／＼尤らしくなつて了つたのです。けれども私は決して悲しみはしません、幸福はいくらも此世に見つけられますもの。マダム、スエッチンスの詞にもある通り「一生は樂しく美しかるべきもの」ですからね」

ラッシエルは少し吃驚したやうな目をして對手を見上げました。

「私もさう思ひますの、けれど

十七

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

貴女とは違つた意味からかも知れません」
　痩せて小形な、少しの感銘にも動じ易いラッシエル、大柄で柔和な、接する人毎にのび〱とした感じを與へるバット、見た處丈けでも此二人の間にからした差異が明らかに讀まれるのでした。
　いたづら盛の兄達と、野育ち同様に育つた此娘をバットは眞實自分の妹か娘のやうに思つて取扱ふのでした。
　時間は經過ました。バッテイルドはお店に行き、ラッシエルは家へ歸りました。悉皆バットに勵まされたので歸るなり箒やら采配やら家中ひつくりかへる様な騷動で、臺所にマゴ〱して居るベロンヌを煙に卷いて、納屋の二階迄整理に取かゝりました。
　然しお午飯を濟すとふと小休みに入つた圖書室で、ラッシエルは騎馬武者の小說を讀み出し全く午後の時間を忘れて了ひました。

時事

□皇后宮お乳の里へ行啓　皇后陛下には五月廿九日午後、御追懐深き府下杉並村に行啓遊され、蠶業試驗場に於て場長以下各高等官に拜謁を賜つた後、三十年前の御乳人大河原てい女(七三)及び陛下の御兄妹を御育て申した大野かれ女(六四)を御前に召され、御懇しき御言葉並々の御下賜品を賜りました。

□東宮大島へ行啓　皇太子殿下には、十日朝東京驛御發、横濱に成らせられ軍艦にて伊豆大島へ行啓あらせらるべき旨仰出されました。

□恭子女王御降嫁の式　伏見宮博恭王殿下第一王女　勳二等恭子女王殿下には、五月廿九日正午御馬車に召して宮家を出でられ、淺野侯爵家へ御到着、同午後四時目出度く御式を了らせられました。

◉**コンノート殿下接伴員**　英帝御名代コンノート殿下の御來朝に就き五月三十一日御接伴員左の通り任命されました。
元帥陸軍大將子爵川村景明
元帥海軍大將男爵伊集院五郎
宗秩寮總裁　侯爵井上勝之助
▲式部官稻葉正純子▲總領事古谷重綱
▲海軍中佐今村信次郎▲陸軍步兵中佐二宮治重▲式部官松平慶民子

◉**元帥帽と御劍着す**　我天皇陛下には英國元帥號を贈られましたる時、英皇室御用の製造者に英國元帥服、帽子、御劍、靴等を御註文あり、今回調製濟となりましたので、參謀本部付騎兵少佐建川美次氏は御帽と御劍を捧持して、五月三十一日横濱入港の天洋丸にて歸朝しました。

◉**明治神宮外苑地鎭祭**　青山練兵場なる明治神宮外苑の地鎭祭は、德川公、井上元帥其他百數十の名士參列して、一日午前九時より擧行されました。

◉**獨軍中央大進出**　五月廿七日より開始されたる佛白戰線に於ける獨逸皇太子軍は、三十一日迄にランスとノアイヨンの間を突破して、シャトーチレーまで二十哩の深さに於て大進出を爲しました。巴里への道は漸く短縮されつゝあります。最も注目すべき狀態となりました。

◉**首相の失言と春秋會**　寺内首相の談としてアウトルック誌上に掲載されたる「戰後日本は獨逸と提携するやも知れず」との議論は、其影響する所重大であるとの事より、東京に於ける新聞雜誌社長主筆記者の團體たる春秋會は「日本國民は斷じて斯の如き事を夢想し居らず、飽くまで日英同盟を恪守し、聯合國と共に獨逸脅威の目的を貫徹せん事を期す」との表明を、英米兩國の有力なる新聞に打電しました。

◉**海軍の無線電話機**　海軍造兵廠電氣部の服部少佐、林、松田兩技師は、多年努力の結果、理想的の無線電話機を發明完成しましたので六月二日服部少佐と松田技師は勳四等旭日小綬章、林技師は勳五等双光旭日章に叙勳の光榮に浴しました。

◉**陸軍航空隊の擴張**　軍用氣球研究會の豫算百五十萬圓を以て砲兵工廠内に飛行機發動機の製作工場を設置すると共に、航空大隊の擴張を計畫されて居りますが、其一歩として人員の增加を計り、三日發表されました。中に特記すべきは航空隊の創始時代より今日まで專心努力せる大尉德川好敏氏が、航空大隊第一中隊長の職を去つて、兵器本廠檢査官となり、機體製作の監督の任に就いた事です。

◉**大學案愈々成る**　五月二十九日開かれた教育調査會大學制度の委員會に於て、曩に小委員會にて得たる成案に、少許の修正を加へて可決され、玆に大學令案の全部を決定するに至りました。夫等の條項は前號に掲載した處と大差ありませんから再錄いたしません。

◉**九州疑獄公判開く**　九州鐵道管理局員及驛長等に係る瀆職事

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

件の第一回公判は、六月一日より福岡地方裁判所に栗本裁判長係りにて開廷され、第一日は宇佐美參事以下收賄側の事實審問第二日第三日は贈賄側の審問を爲しました。

◉**米國化した布哇の同胞**　布哇の學校では天長節には授業を休み、領事館で御眞影を拜する例であつたが、現在では休校しなくなり、日本語教育上にも種々心細い事があると本願寺經營布哇中學校教諭田島金次郎氏は語つたと申します。

◉**最初の共同炊事**　愛知縣中島郡一の宮町並に近村の機業家發起にて機業工場十九ヶ所の男女職工八百名に對し共同炊事を六月十一日より開始し、平均一日一人十九錢五厘乃至二十錢にて三食を給してゐます。米は日本米と臺灣米と引割麥を加へ、副食物は野菜を主とし、一ヶ月十五日には日本米と魚肉類を用ふるといふ事です。

◉**大阪の簡易食堂開く**　大阪府知事等の醵入にて出來た南區日本橋四丁目の財團法人大阪府簡易食堂は、六月五日開場式を行ひましたが、五十坪の建物で一飯時百人を容れる事が出來、一飯五錢、六錢、七錢、八錢の四級に分ちあり、味噌汁一杯一錢の安賣りで、獨身者や中流以下の者には非常に便とされてゐます。

◉**閨秀家庭小說家來る**　エリサベス・デージス女史の雅號で知られた米國の家庭小說作家エフ・イ・バジエツト夫人(五二)は五月卅一日天洋丸で來朝、横濱グランド・ホテルに滯在中ですが、一年間滯在して日本現代の家庭生活、婦人問題等の研究をされるとの事です。夫人は父ジヤーニス大佐と共に熊本城近く住んでゐた事があり幼少から十六才の秋までゐた日本戀しく今回遙々來朝したのでありますと。

◉**曲乘飛行家西出氏歸る**　曲乘飛行を以て米國人間に知られた和歌山縣人西出清(三〇)氏は、五月卅日天洋丸で歸朝しました。

◉**小澤判事自殺す**　青森地方裁判所判事小澤正名氏(三五)は五月卅日夜、部長判事藤瀨猶一郎氏宅を訪問し同家便所内で剃刀自殺を遂げました。原因は下宿し居たる家の娘との關係なるもの、如く 氏は四十四年東大出身の法學士で 水戸市の父は元大審院判事であります。

◉**日向輝武氏逝く**　代議士として きむ子夫人の夫君として 半生の豪華を極めし日向輝武氏は、大隈内閣時代議員買收の瀆職事件に連坐して入獄し、極度の神經病を病み居りしが、五月廿八日大久保腦病院に於て逝去されました。父君の趣味を承けて海員たらんとする 長男以下五名の子女は、きむ子夫人の手に遺されました。

◉**溺死兄弟の追悼會**　五月十八日自宅附近の堀に溺れた弟を救はんとし共に溺死した府下南葛飾郡吾嬬町 第一小學校生大野阿久太郎(七つ)と政吉(五つ)の兄弟を吊ふべく、村上直次郎、大内青巒、江原素六、岸邊福雄の諸氏 發起となり六月二日同小學校内に 小學生全部を主賓として盛大な追悼會が催されました。

◉**廢物利用展覽會**　は六月十五日より七月十四日まで お茶の水東京教育博物館内に開催され、家庭の利益を中心とした廢物及び廢物から出來た 製品三百餘種を陳列される由。

◉**繪畫館の圖案募集**　明治神宮外苑に建設さるべき 明治天皇繪畫館及び葬場殿記念建造物は明治神宮奉贊會にて 百四十萬圓の經費を以て 五年計畫にて建造さるゝ筈であるが 兩建築物の設計は約四萬圓の賞金を懸けて廣く天下に 募集する事となり近く 官報にて詳細發表さるゝ由です。

◉**櫻楓會第二托兒所新設**　日本女子大學校卒業生より成る櫻楓會は 新らたに府下日暮里に地をトし、第二托兒所を開き、本年度卒業の鳥羽あや子女史主任となりて經營の筈。

輯編室より

▲いつしか梅雨が巡つて來ました。これから一と月もこの鬱陶しい天候の續くことは、驚ろしいことながら、日に〳〵茂り行く木々の梢を見渡して、やがて物皆榮ゆる七月の盛夏の候を迎ふることは、思ふも心地よい限りです。▲廿一號の「幸福とは何ぞや」に就て、なほ續々懇書を寄せられるにつけても、人の心はいつの世も、眞實を欲することを知つて、有難いことの限りと思はれます。

人事相談所

□本所は婦人週報社の附帶事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、其他有ゆる相談に應じ、最も善き解決を與へます。

□本所は絶對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財產調査、男女學生品行調査、裁判上の證據調査等の御依頼に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります、但しこれは依頼者が至當と思はれる程の低廉な調査料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい、面會時間は日曜水曜を除くの外午後零時より、午後四時迄です。

東京牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社内(電話番町四五六六番)

人事相談所

婦人週報
(每週金曜發行)

定價表
△壹部金五錢五厘(郵稅共)
△一ヶ月(四部又は五部)金廿二錢
△三ヶ月(十三部)金六拾六錢
△半年(廿六部)金壹圓廿錢
△一年金貳圓四十錢
△外國一年分金參圓廿錢

廣告料
△特等(表紙の二、四)金參拾圓
△壹等(表紙の三、白紙前付)金廿五圓
△貳等(色紙の表側)金廿貳圓
△參等(色紙の内側)金貳拾圓

注意
▲御註文は一切前金の事▲郵券代用は一割增の事▲送金の爲替名宛は東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

編輯兼發行印刷人　小橋三四子
東京市京橋區銀座四丁目一番地
印刷所　福音印刷株式會社
東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
發行所　婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番
電話番町四五六六番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

診察毎朝及毎夕 但祭日及日曜の他
院長診察月木金午前及木午後六時
林、峰岡兩副長は目下當院に在勤
東京麹町區三番町卅番地(市ヶ谷見附内)
電話番町 六二一五 六二一六番

東洋内科醫院

院長 醫學博士 高田畊安

南湖院

電話ちがさき二番
神奈川縣茅ヶ崎海濱(從停車場半里)
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察土曜日午後、入院診後應需
診察毎朝 但祭日及日曜及土曜の他

大黒天印

赤 白

宮崎葡萄液

宮崎葡萄液ハ「アルコール」分を含マズ最モ滋養ニ富ミ上戸ニヨク下戸ニモヨシ御婦人御子供衆ニモヨク頗ルオモシロキ理想的好飲料

大小數種化粧箱
商品切手調進仕候

宮内省御用達
東京市日本橋區通旅籠町
發賣元 甲斐産商店
電話浪花八七〇、八七一

◎内科◎小兒科
宅診午前 往診午後

藤井診療所

藤井かう子
本郷區彌生町二番地ハノ三十三號
(電車高等學校前下車)
電話小石川一六四六(呼出し)

家庭衛生講習會

一、目的 家庭に必要なる衛生及衛生マッサージを教授す。
一、場所 赤坂區新町三丁目四十六番地婦人矯風會本部内。
一、期間 自毎月十六日至翌月十五日水金午後二時より四時迄。
一、講習料 金十圓也前納の事。
一、人員 十名を以て定員とす。
一、證書 講習修了者には修了證書を交付す。
一、特典 講習修了者は會員として隨意に傍聽又は研究する事を得。
一、主催 婦人矯風會本部。
一、講習主任 醫師藤井孝。

右御希望の方は至急赤坂區新町三丁目四十六番地婦人矯風會本部(電話芝一七五三)に申込まれたし。

耳鼻咽喉科專門

大野醫院

(入院隨時)
院長 耳鼻咽喉科 大野喜伊次
東京京橋區南鍛冶町廿七
電話京橋一〇三五

◎產婦人科◎小兒科

宅診午前 往診午後
病室、產室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ
院長 女醫 吉岡彌生
東京市麹町區飯田町四丁目卅一番地
電話番町二二五七

東京至誠病院

產科、婦人科 小兒科

女醫 井出茂代
東京府内藤新宿番衆町卅一番地
電話番町三六七七番

松下皮膚科醫院

○診察、午前、夜間
○京橋南八丁堀櫻橋際
(電京二二三一番)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

發行所 東京市牛込區市ケ谷田町二丁目十七番地 婦人週報社
電話番町五六番・振替東京二一六八〇番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA